

第12回 顎口腔機能セミナー 開催要項

【主催】 日本顎口腔機能学会

【主管】 校長 増田裕次（日本顎口腔機能学会・会長，松本歯科大学）

セミナー企画委員長 皆木省吾

（顎口腔機能セミナー企画担当理事，岡山大学）

【会期】 令和4年

10月7日（金）～9日（日）（2泊3日）

開始日時：10月7日（金）14：00

終了日時：10月9日（日）11：40

【テーマ】 若手研究者の台頭

【会場】 サントピア岡山総社（リアルでやるぞお！）

〒719-1142 岡山県総社市秦1215

TEL：0866（95）8811 URL：<http://suntopia-okayama-soja.com/>

【参加費】 未定

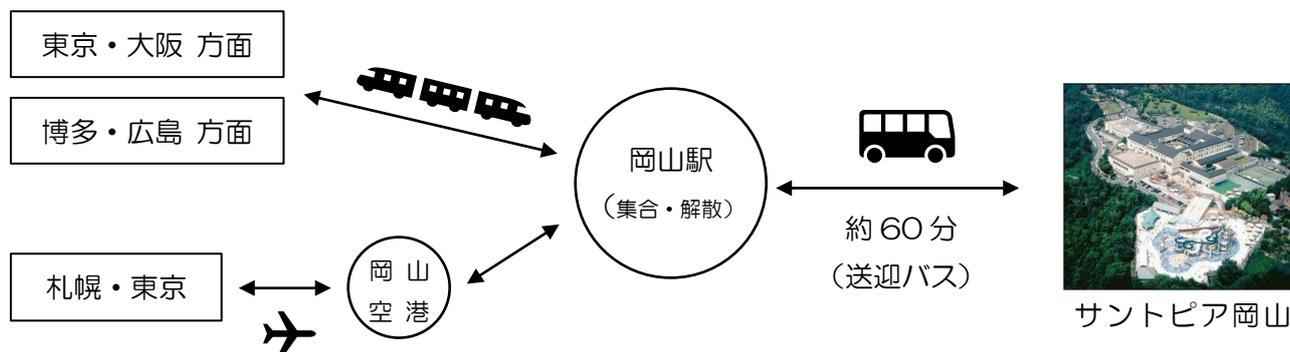
【連絡先】 第12回 顎口腔機能セミナー企画委員会

岡山大学学術研究院医歯薬学域 咬合・有床義歯補綴学分野

企画担当幹事 萬田陽介

Mail：y_manda@s.okayama-u.ac.jp

【交通】 岡山駅集合 7日（金）12：30 岡山駅解散 9日（日）13：00頃



【申し込み】

HPに申し込みフォームを掲載いたします。メールでの提出を予定しています。

座学 (①~③)

① サンプルサイズの決定法 (仮題)

三橋 利晴 先生 (岡山大学病院 新医療研究開発センター)

② 私を熱くした研究ストーリー

萬田 陽介 先生 (岡山大学 咬合・有床義歯補綴学分野)

鈴木 善貴 先生 (徳島大学 顎機能咬合再建学分野)

片桐 綾乃 先生 (大阪大学 口腔生理学教室)

③ 研究ショートトピックス 使ってよかった! 研究サポートツール4選

●特別シンポジウム

社会実装への道

1) 筋電計の上市から保険採用への道 -ウェアラブル筋電計-

山口 泰彦 先生 (北海道大学 冠橋義歯補綴学教室)

2) クラウドファンディングへの道 -マウスピース型人工喉頭-

戸原 玄 先生 (東京医科歯科大学 摂食嚥下リハビリテーション学分野)

ワークショップ

① 唾液分泌量の変化は咀嚼嚥下をいかに変調するか

講師：真柄 仁先生（新潟大学 摂食嚥下リハビリテーション学分野）

概要：唾液は咀嚼嚥下過程における食塊形成、移送に必要不可欠である。顎口腔領域の筋電図記録や嚥下内視鏡検査を用いて、咀嚼嚥下運動の生体記録の基本を学ぶとともに、唾液分泌量の変化がもたらす咀嚼嚥下運動の変調を検証する。

② AI を用いた舌圧波形分析

講師：堀 一浩先生，大川 純平先生（新潟大学 包括歯科補綴学分野）

概要：種々の試料を摂取したときの舌運動について、舌圧センサを用いて計測する。また、得られた舌圧波形を解析するとともに、人工知能（AI）の領域の1つである機械学習を用いて評価する。

③ 部位特異性の顎口腔領域の音を視る

講師：鈴木 善貴先生（徳島大学 顎機能咬合再建学分野）

概要：顎口腔領域の様々な活動では咀嚼音や嚥下音などをはじめとして様々な音声を伴っていることが多い。それらの音声が部位特異的にどのような音響特徴を有しているのか、他の活動と識別することは可能であるのか探索的に調査していきたい。

④ supertaster と medium taster が捉える食品イメージはどう異なるのか？

講師：服部 佳功先生（東北大学 加齢歯科学分野）

概要：ヒトはPROPの呈する苦味の感受性に基づいて supertaster、medium taster、nontaster に分類され、4人に1人はきわだって鋭敏な supertaster なのだそうです。では味覚感受性の違いはヒトが捉える食品イメージにどのように影響するのでしょうか。本セミナーでは簡便な口腔感覚検査や官能検査の方法などを組み合わせ、この問題を探る研究計画を立案、実施します。

（測定：倫理審査を通じて変更される可能性があります）

- supertaster の同定：茸状乳頭密度（苦味感受性の代替指標）
- 触覚閾値計測：微結晶セルロースの認知閾値
- 摂取食品の味・テクスチャー：TDS法およびCATA法
- 咀嚼動作：咀嚼筋・舌骨上筋EMG